

## K A W E 喉頭鏡

### 【禁忌・禁止】

本品を再使用する場合は、洗浄・滅菌を行なった後に再使用する。[感染の恐れ]

### 【形状・構造及び原理等】

本品は、ステンレス鋼製のブレードとハンドルの2つの構成部品から成り、それぞれを個別に製品として供給するものです。使用するときには両構成部品を合体させて、ブレードを口腔から直接挿入することで喉頭を展開することができます。

本品には、照明機能が内蔵され、ブレードの形状・大きさによって種類がある。

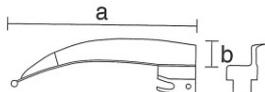
#### 1. 形状・大きさ

本品には形状・サイズにより、次の種類がある。

ファイバーオプティカ（7376）

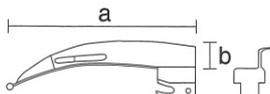
ブレード

メガライトマッキントッシュ



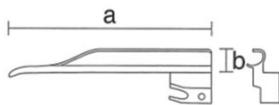
マッキントッシュ

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| サイズ | 0～5                         |
| 寸法  | a : 82～176mm<br>b : 14～20mm |



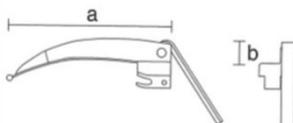
メガライトミラー

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| サイズ | 0～4                         |
| 寸法  | a : 80～155mm<br>b : 13～25mm |

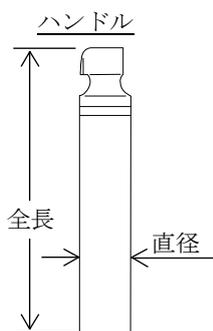


メガライトフラップライト

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| サイズ | 00～4                        |
| 寸法  | a : 66～210mm<br>b : 11～18mm |



|     |                           |
|-----|---------------------------|
| サイズ | 3～4                       |
| 寸法  | a : 135～155mm<br>b : 18mm |



| サイズ   | 直径   | 全長    |
|-------|------|-------|
| スモール  | 19mm | 152mm |
| ミディアム | 28mm | 152mm |
| ショート  | 32mm | 111mm |

### 【使用目的又は効果】

麻酔又は救急医療等で、気道確保のために気管（人の気道）への気管内チューブの挿入、配置を支援したり、異物を除去したりするために用いる器具をいう。喉頭及びその周辺の観察、診断、治療にも用いる。ハンドル、ブレードから成る。照明装置を内蔵するものもある。ただし「軟性挿管用喉頭鏡」、「硬性挿管用喉頭鏡」、「ビデオ軟性挿管用喉頭鏡」および「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡」に該当するものを除く。

### 【使用方法等】

1. 使用前に、本品を洗浄・消毒・滅菌等を行なって清潔にすること。
2. 患者のサイズに合ったハンドル及びブレードを選択する。
3. ハンドルの底蓋を回転し結合部と離して、筒内に電池2本を入れる。（極性を逆にしないこと）  
※LED電球には極性があるため、ショートハンドルの場合は必ず内部記載の指定の方向で単3乾電池2本を装着すること。
4. ハンドルの結合部にブレードを取付け、ブレードを直角の位置にしたとき、ブレード先端部から照明光が得られることを確認する。
5. スニッピングポジションをとる。枕の高さ、首の位置を確認すること。
6. ハンドルをしっかり握り、ブレードを患者の右口角から口腔内に挿入する。
7. 異物や分泌物を認めたときは、吸引あるいはマギール鉗子で除去する。
8. 喉頭を展開し、気管挿管等を行なう。
9. 使用後は、洗浄・消毒・滅菌等を行ない清潔に保管する。

### 【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
  - ・気管へのチューブ挿入する場合は、安全に静かに行ない、強い抵抗のある場合は中止し、無理な挿入は避けること。
  - ・万一製品に傷・異物・劣化などを発見した場合は、使用しないこと。
2. その他の注意
  - LED電球は安定した点灯を保つために高電圧を必要とします。電圧が不足すると、点灯しなかったり、光源がちらつく原因となるので乾電池交換は早めに行なうこと。乾電池交換の際には、2本同時に同じ種類のアルカリ乾電池へ交換すること。マンガン乾電池は高電圧を保てる期間が短いため使用しないこと。また、充電式乾電池は必要な電圧に満たないため使用しないこと。

### 【保管方法及び有効期間等】

保管方法

1. 洗浄後、腐食を防ぐために保管期間の長短に関わらず必ず乾燥させること。

2. 水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
3. 異なる金属と接触して保管しないこと。[錆の発生]
4. 使用頻度が少ないときは、滅菌して単品包装し保管するとともに、滅菌の有効保管期間を管理してください。
5. 長時間使用しない場合は、ハンドルから乾電池を取り外しておくこと。

## 【保守・点検に係る事項】

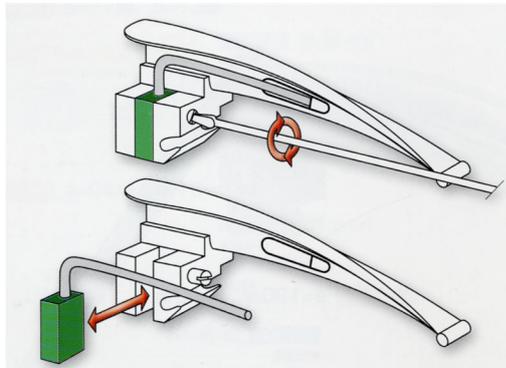
### 1. 電球の交換

- ① ヘッドより、電球のネジ部分を引っ張って外す。
- ② 新品の電球のネジ部分を持ち、電球のガラス面が先端になるようにヘッドに挿入し、回しながらピッタリと装着する位置を探して奥まで押し込む。

### 2. ライトガイド（ファイバー）の交換

ブレード本体（マッキントッシュのみ）のねじを緩めてライトガイド（ファイバー）を引き出すだけで簡単に交換できます。

※メガライトマッキントッシュ、メガライトミラー、メガライトフラップライトは、ファイバーの交換ができません。



### 3. ブレードの消毒・滅菌 \*\*

使用後1時間以内に流水もしくはステンレスへの使用が可能な弱アルカリ性洗浄剤で血液や体液を洗い流し、消毒または滅菌を行なうこと。

滅菌は、EOG滅菌、高圧蒸気滅菌が可能です。

- ① 消毒は、消毒薬メーカーの推奨する濃度、時間に従って浸漬する。
- ② 洗浄はウォッシャーディスインフェクターによる洗浄を推奨する。ウォッシャーディスインフェクターでの洗浄の際には、機器の取扱説明書に従い、洗浄剤の種類、濃度、洗浄温度に注意して実施すること。
- ③ 洗浄・消毒に生理食塩水、塩素系溶液、ベタディン溶液、過酸化水素溶液、次亜塩素酸ナトリウムを使用しないこと。[腐食する恐れ]
- ④ 高圧蒸気滅菌は、頻繁に行なわないこと。[ライトガイドの寿命を縮める恐れがある]
- ⑤ 高圧蒸気滅菌は、次の条件で行なってください。

| 保持時間 | 滅菌温度 | 乾燥時間  |
|------|------|-------|
| 5分以内 | 134℃ | 20分以上 |

- ⑥ 高圧蒸気滅菌後は、十分に乾燥された状態であり、ブレードに水滴等の残留が無いことを確認すること。
- ⑦ 超音波洗浄は、しないこと。

### 4. ハンドルの消毒・滅菌 \*\*

- ① 消毒は、使用後1時間以内に消毒用アルコールで十分に拭いてください。
- ② ウォッシャーディスインフェクターでの洗浄・消毒を行なう場合は、先ず電球と電池を外してから（ショー

トハンドルの場合はバッテリーホルダーも外すこと）ヘッド、筒、電池キャップを組み立てた状態での洗浄及び消毒を推奨します。ウォッシャーディスインフェクターの洗浄については、頻繁に行なうと洗剤がコンタクトディスク及び電球装着部分の隙間に残留してしまう可能性があります。その場合はコンタクトディスク及びヘッドの交換が必要になります。

- ③ 滅菌の際は、使用後1時間以内に、先ず電球と電池を外してから、流水もしくはステンレスへの使用が可能な弱アルカリ性洗浄剤で血液や体液を洗い流し、高圧蒸気滅菌を行なうこと。ショートハンドルの場合は、電球と電池と同様にバッテリーホルダーも外した上で高圧蒸気滅菌を行なうこと。

- ④ 高圧蒸気滅菌を行なう際には、電球以外のパーツをそれぞれ外した状態で行なうこと。

- ⑤ 高圧蒸気滅菌は、次の条件で行なってください。

| 保持時間 | 滅菌温度 | 乾燥時間  |
|------|------|-------|
| 5分以内 | 134℃ | 20分以上 |

- ⑥ 高圧蒸気滅菌後は、十分に乾燥された状態であり、ハンドルに水滴等の残留が無いことを確認すること。

- ⑦ 超音波洗浄は、しないこと。

### 5. その他 \*\*

- ① 乾電池、電球、ライトガイド、バッテリーホルダーは、洗浄時に外し、内部の水滴を取り除くこと。ハンドルとの結合部の電気接点も乾いた布で磨いてください。
- ② 使用前、使用後に、汚れ、傷、曲がり、可動部の動き等に異常がないかを点検すること。
- ③ 点灯状態が暗くなった場合、もしくは点灯しなくなった場合は、先ず電池を交換すること。電池を交換しても点灯状態が改善しない場合は、予備の電球と交換すること。
- ④ LED電球には極性があるため、ショートハンドルの場合は必ず内部記載の指定の方向で単3乾電池2本を装着すること。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：eastsidemed株式会社 \*

東京都文京区本郷3-24-5

TEL 03-3815-0056 FAX 03-3818-4085

製造業者：キルヒナー ウント ヴィルヘルム

Kirchner & Wilhelm GmbH + Co. KG

国名：ドイツ